



小鯖小学校だより 1月号

令和4年1月11日
山口市立小鯖小学校

【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 困：思いやりのある子 ㊦：さわやか元気な子 ㊧：ばっちり学ぶ子

新年あけましておめでとうございます！

校長 高田 修司



謹んで初春のお喜びを申し上げます。

本年が皆様方にとって素晴らしい年になるよう祈念するとともに、自らの力で素晴らしい年にできるよう「明るく、楽しく、元気よく！」ポジティブに行動できると良いですね。



「道はじぶんでつくる 道は自分でひらく

人のつくったものは じぶんの道にはならない」

終業式、そして始業式でも子どもたちに紹介した相田みつをさんの言葉です。

子どもたちが何事に対しても、自分でやる、自分で決める、挑戦する、という気持ちをもって取り組んでほしいという願いを込めてお話しさせていただきました。

もちろん私たち大人の側も、それぞれのお子さんの発達段階に応じて、（ぐっところえて？）自分でやらせて、決めさせて、挑戦させてやるというサポートが大切ですね。

寅年にあやかり、葛飾区柴又フーテンの寅さんのように人情厚く、虎のように泰然自若と見守りながら、小鯖っ子たちの健やかな成長を願いましょう！

今年も校門前の門松を3年生が作りました！



去る12月21日に、校門前に門松を立てました。

毎年校門前の門松は、地域の間野さん、手嶋さん、田中さんが立ててくださっていましたが、今年度は総合的な学習の時間の一環として、3年生も一緒に作らせていただくことになりました。

材料の切り出しや加工などの下準備はお三方がやっておき、子どもたちは主に組み上げる作業を行いました。



手嶋さんのご指導、そしてのちに間野さんも来てくださって、松、竹、梅、ゆずり葉、南天、葉牡丹などを飾る意味などもお聞きしながらバランス良く組み上げ、見事に一對の門松が完成しました。

子どもたちにとっては作るという活動が楽しかったことはもちろんですが、日本の伝統文化を継承（？）するという貴重な体験にもなったようです。

校長のひとりごと… ； 「竹が目立っていますけど…、ちなみに門『松』ですからね！」